

## トラック 40-1

昔々、母親と父親がいた。彼らは一緒に暮らし、ひとりの女の子を儲けた。彼らは一緒に暮らしていたが、娘は家のことすべてを仕切ろうとし、父親と母親に指図した。彼女が望むことはすべて叶えられなければならなかった。

父親は第二夫人と結婚したかったが、娘は反対して言った。  
「お父さんは二回目の結婚は出来ません。何故なら、私は大人なのにまだ結婚してませんから」。彼らは一緒に生活が続けたていたが、とうとう父親が言った。  
「私が第二夫人と結婚できるように、お前を結婚させた方がいいだろう」。

母親が必要なすべてのことを整え、娘を結婚させた。そしてその後、父親は第二夫人と結婚することにした。しかし、第二の家族の妻は、第一の家族の妻と折り合いが悪かった。だから、父親が第二の家族のところに泊まろうと行っても、第二夫人はこう言った。

「だめです。他の家族のところへ行って下さい。あなたはここには泊まれません」。  
そこで、他の家族のところへ行くと、同じように追い払われた。

彼はこのように暮らしていたが、彼はついに言った。  
「こんな風に生きるのはもういやだ」。  
彼は第二夫人と別れ、最初の妻とだけ生活することにした。こうやって彼らは父親が死ぬまで一緒に暮らした。父親が亡くなると、母親が娘と残され、彼らも死ぬまで一緒に暮らした。